

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・小売業の業態別販売動向



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

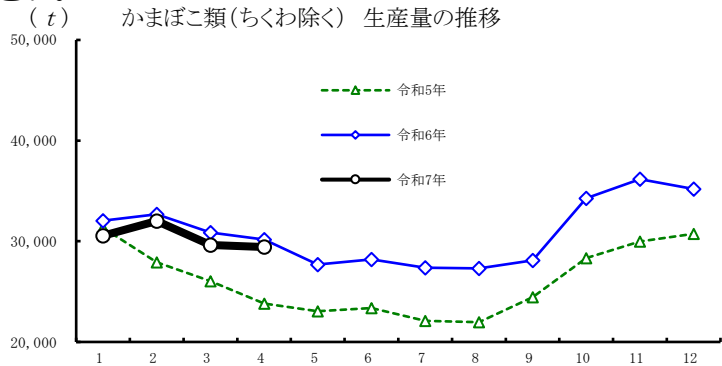
なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

かまぼこ類

生産量 対前年同月比

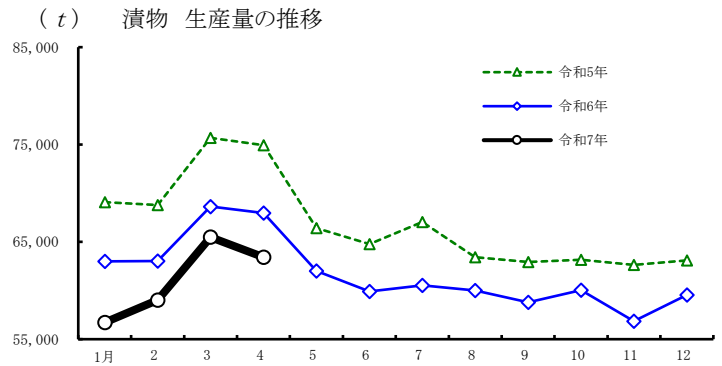
4月 **2.4%** 減少



漬物

生産量 対前年同月比

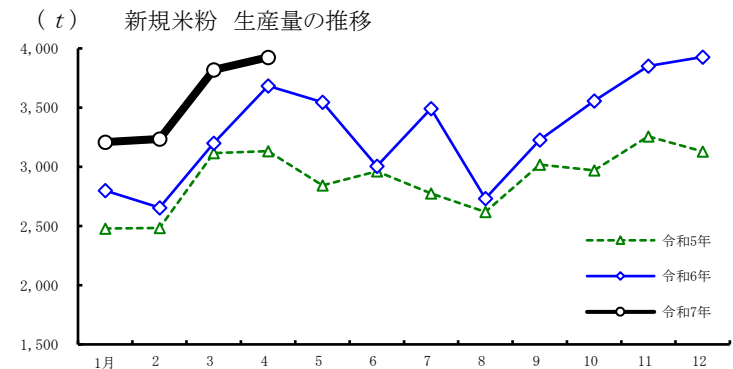
4月 **6.7%** 減少



新規米粉

生産量 対前年同月比

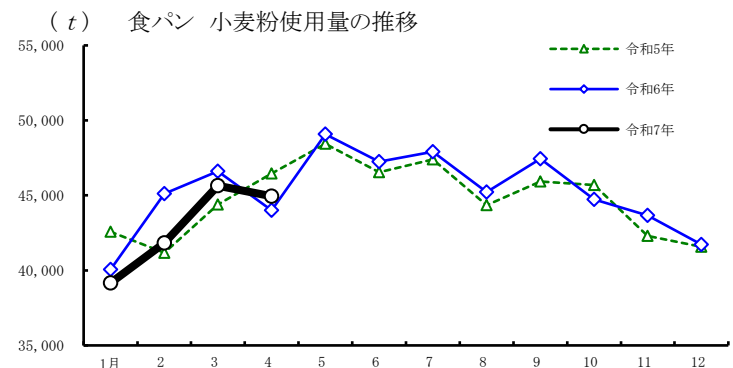
4月 **6.5%** 増加



食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

4月 **2.2%** 増加

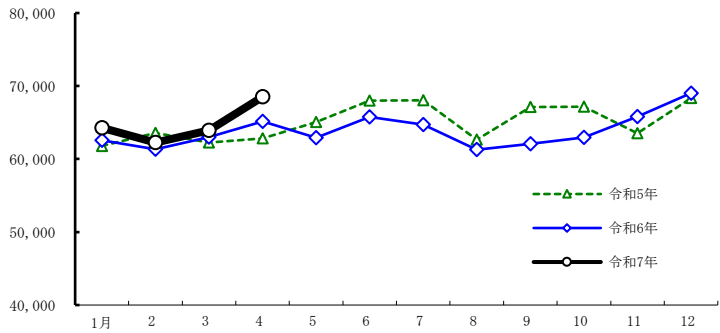


1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比
4月 5.7% 増加

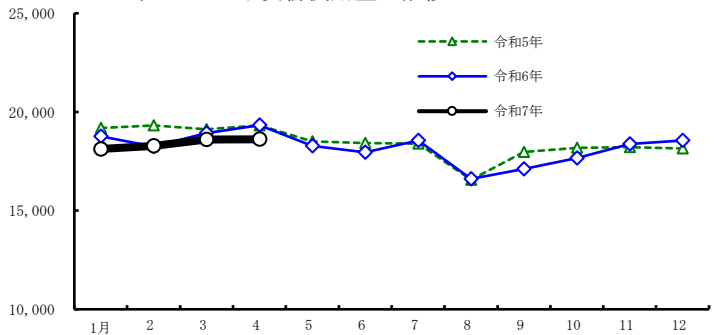
(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比
4月 3.7% 減少

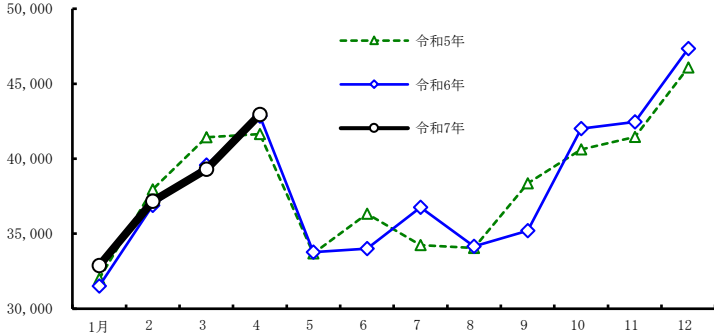
(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



○ 味噌

生産量 対前年同月比
4月 0.3% 増加

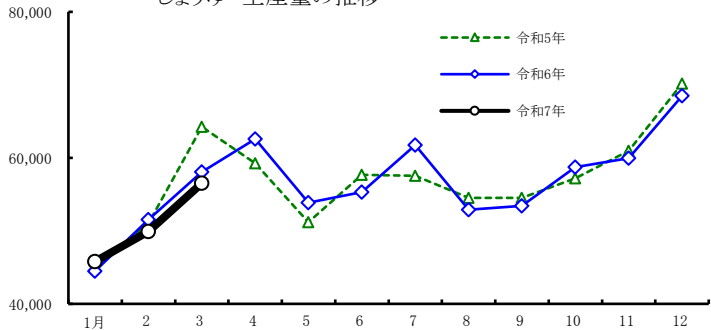
(t) 味噌 生産量の推移



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比
3月 2.6% 減少

(kl) しょうゆ 生産量の推移

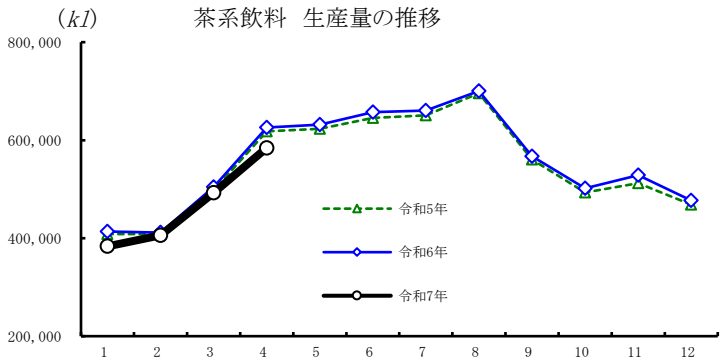


1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

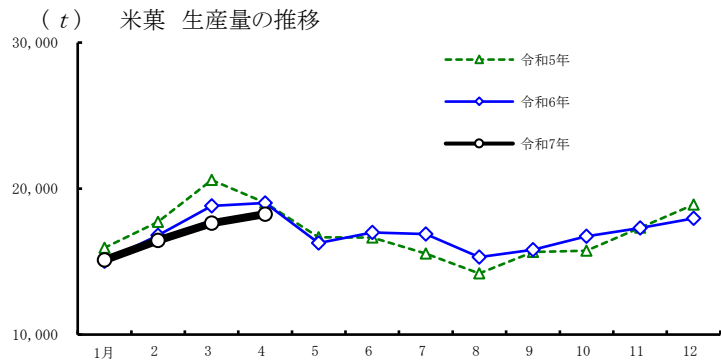
4月 **6.6%** 減少



○ 米菓

生産量 対前年同月比

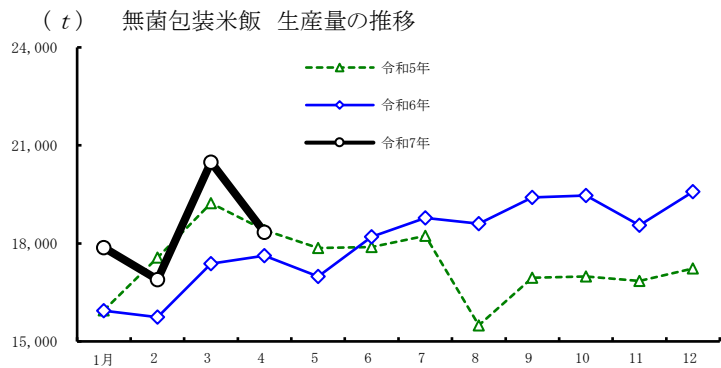
4月 **4.0%** 減少



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

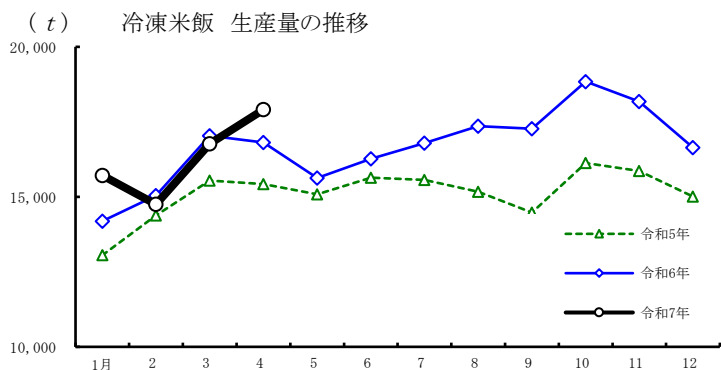
4月 **4.1%** 増加



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

4月 **6.5%** 増加



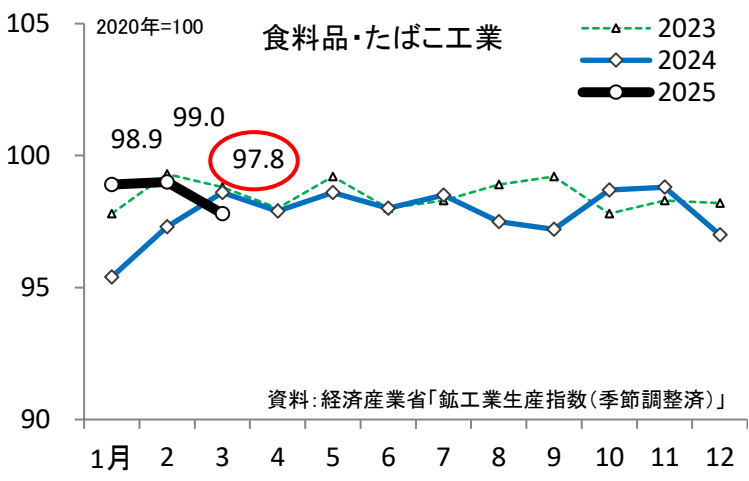
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ **食料品・たばこ工業**

生産指数 対前年同月比

3月 0.8% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



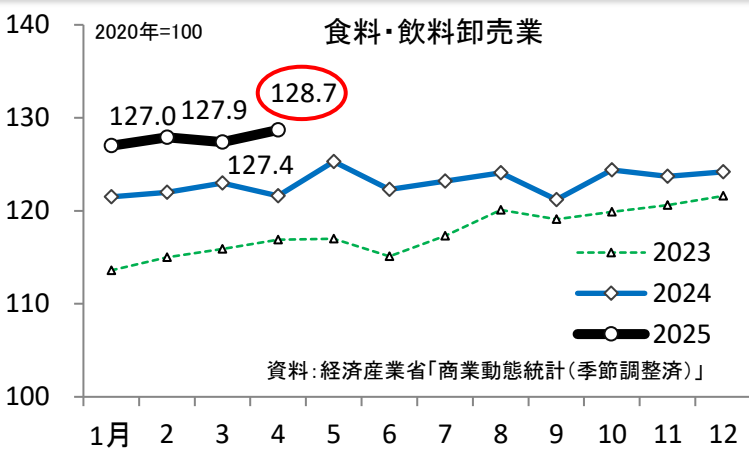
2. 食品卸売業・食品小売業

○ **食料・飲料卸売業**

売上高 対前年同月比

4月 5.8% 増加

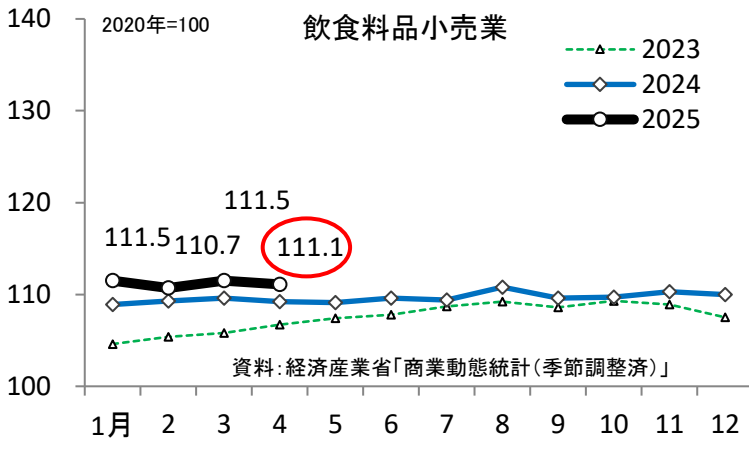
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。



○ **飲食料品小売業**

売上高 対前年同月比

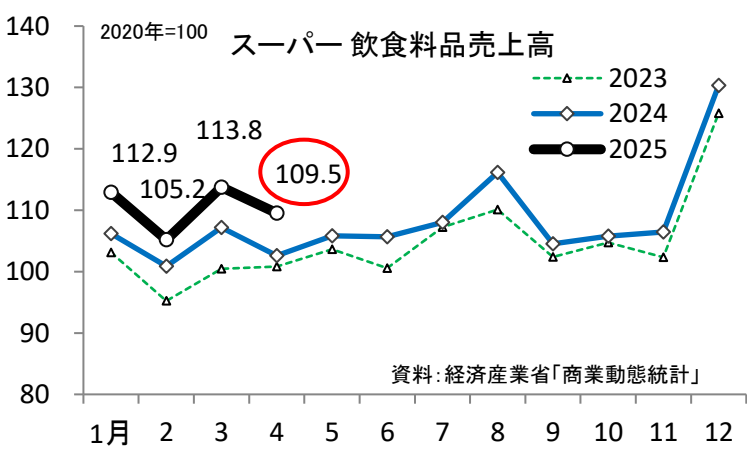
4月 1.7% 増加



○ **スーパー**

飲食料品売上高 対前年同月比

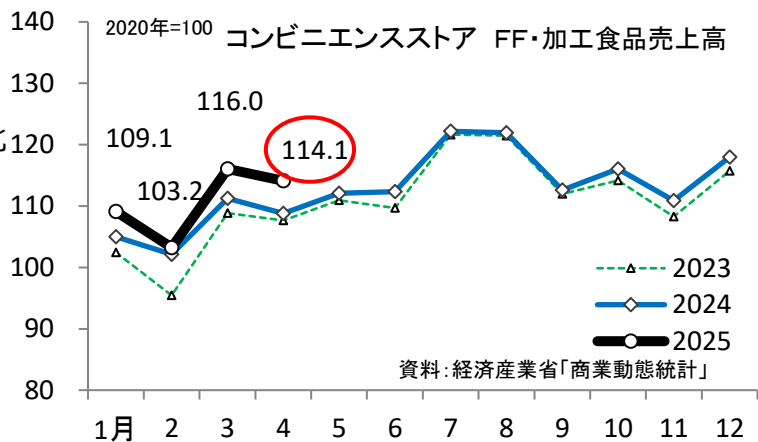
4月 6.7% 増加



2. 食品卸売業・食品小売業

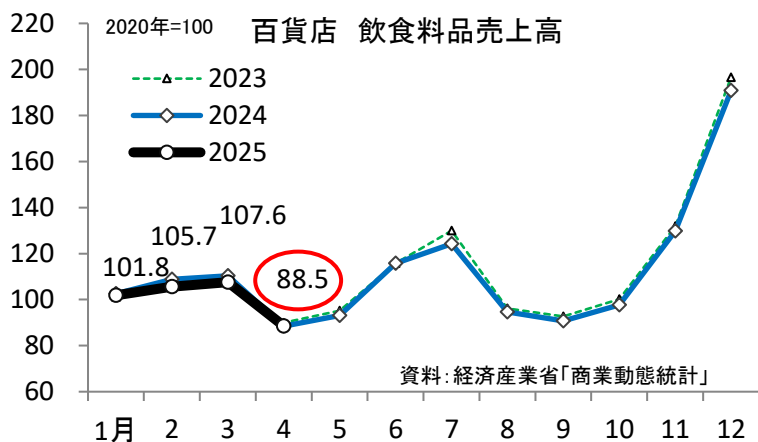
○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比
4月 4.9% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比
4月 0.1% 増加

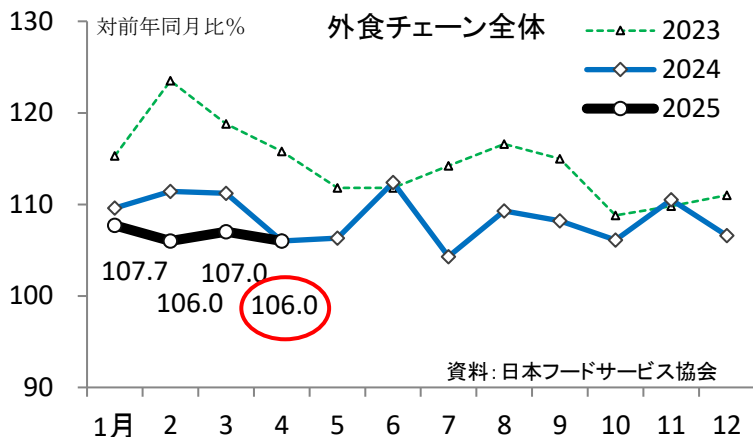


3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食チェーン全体

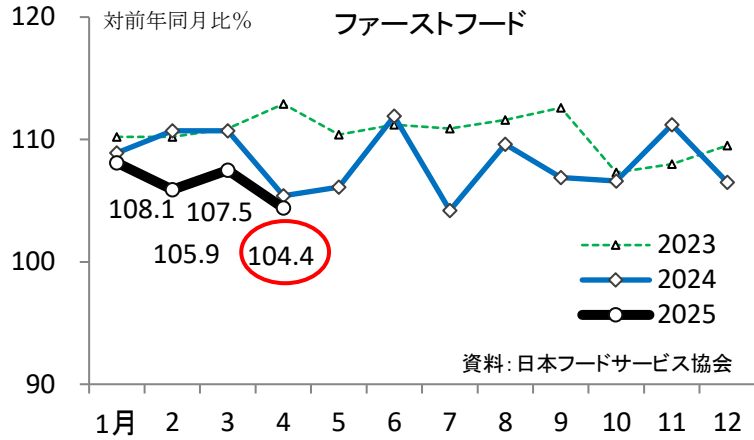
全店売上高 対前年同月比
4月 6.0% 増加



3. 外食産業

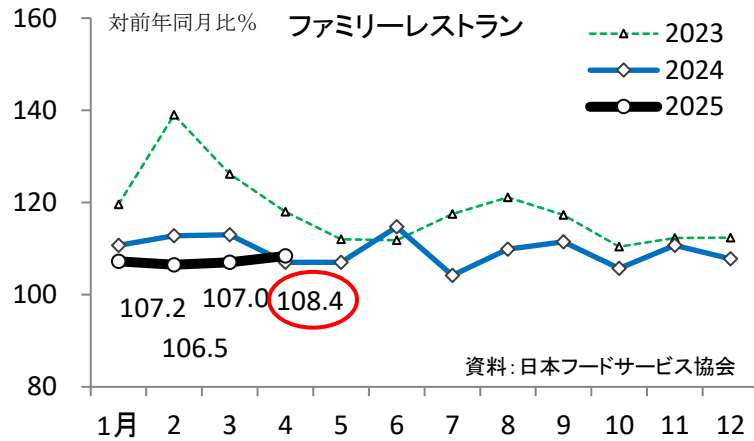
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
4月 4.4% 増加



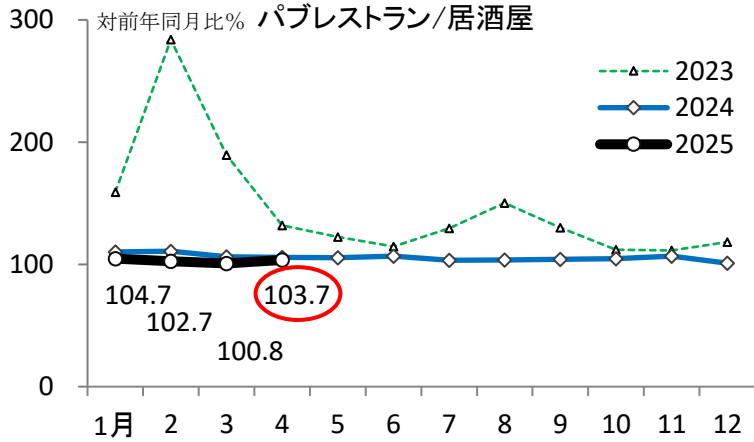
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
4月 8.4% 増加



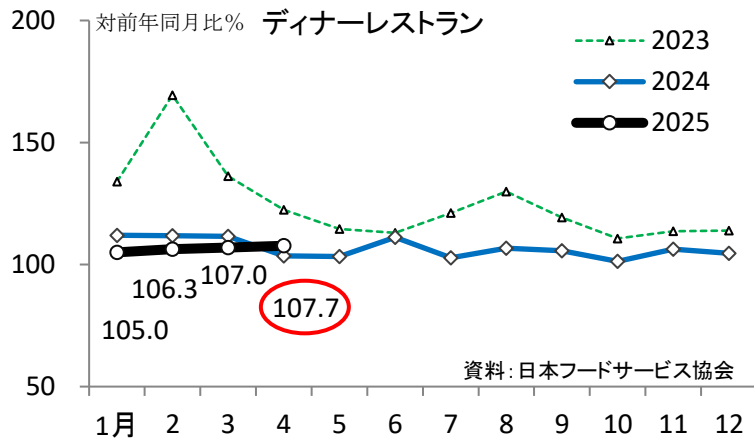
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
4月 3.7% 増加



○ デイナーレストラン

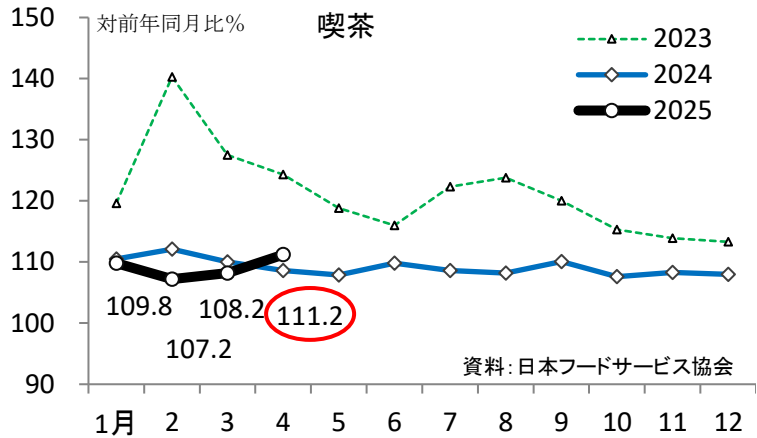
全店売上高 対前年同月比
4月 7.7% 増加



3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比
4月 11.2% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

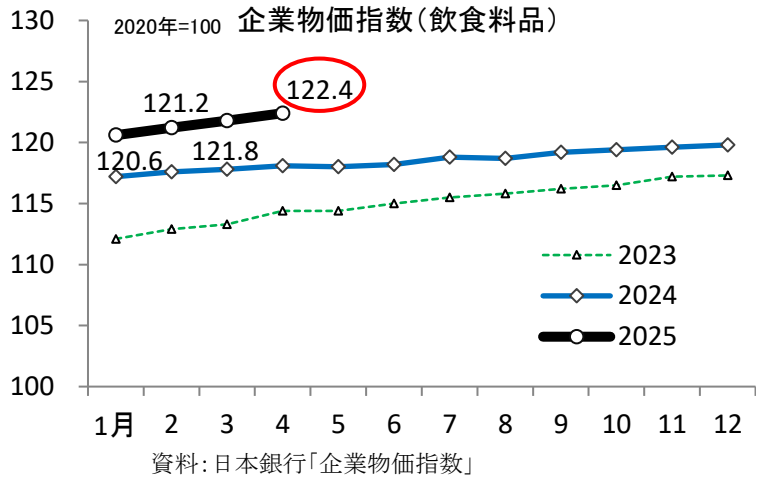
企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比
4月 3.6% 上昇



○ 消費者物価指数

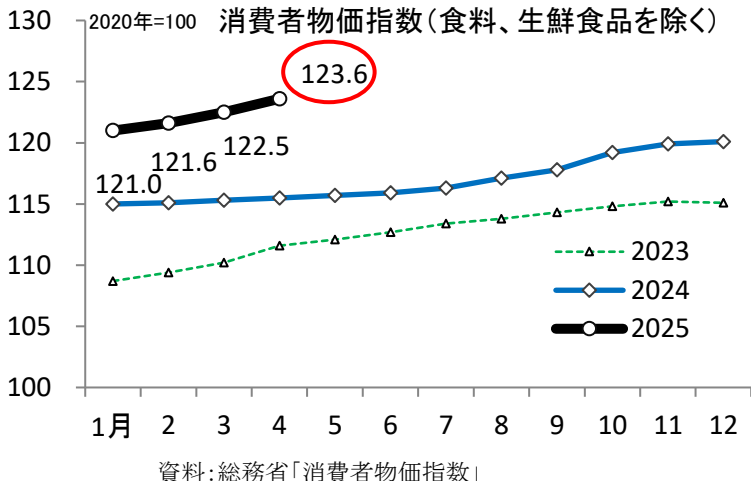
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比
4月 7.0% 上昇



令和6年の主な小売業の業態別販売額は、対前年比で百貨店はかなりの程度増加、スーパーマーケットはわずかに増加、CVSはわずかに増加、令和5年の通信販売はかなりの程度増加

小売業のうち、百貨店、スーパーマーケット、CVS（コンビニエンスストア）、通信販売の4つの業態の令和5年の販売額合計は、経済産業省「商業動態統計」及び公益社団法人日本通信販売協会によれば、合計47兆9千億円で対前年比5.1%とやや増加となっている。

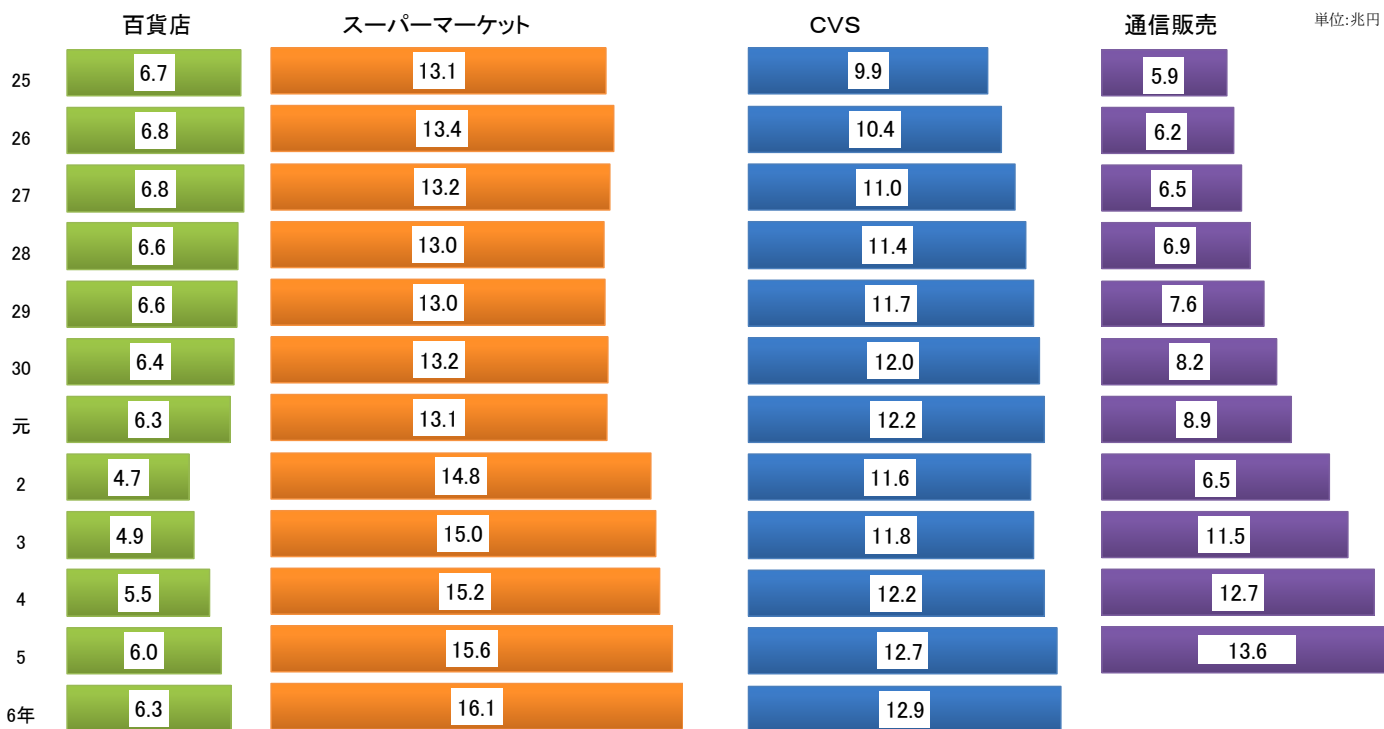
業態別にみると、令和6年は百貨店が6兆3千億円で対前年比6.2%とかなりの程度増加し、コロナ禍前の水準に回復している。

スーパーマーケットは16兆1千億円で対前年比2.7%とわずかに増加となった。令和元年比では22.8%とコロナ禍の巣ごもり消費以降も引き続き堅調となっている。

CVSは12兆9千億円で対前年比1.2%とわずかに増加となった。令和元年比では5.8%でコロナ禍前の水準を上回って順調となっている。

通信販売の令和5年販売額は13兆6千億円で対前年比6.7%とかなりの程度の増加となった。令和元年比では53.2%とコロナ禍前の水準を大幅に上回り順調に市場が拡大している。

図1 小売業3業態および通信販売における販売額の推移

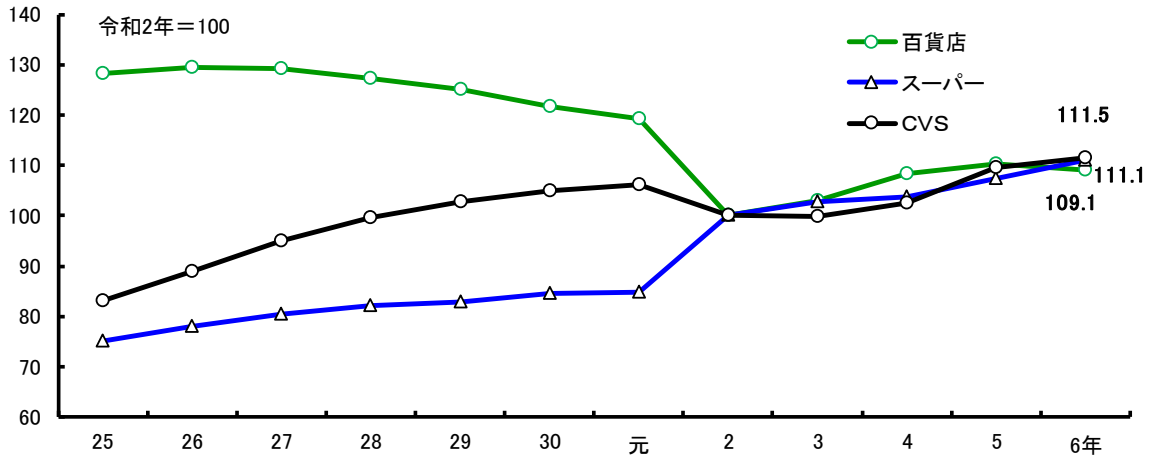


資料：経済産業省「商業動態統計」、公益社団法人日本通信販売協会

令和6年飲食料品の販売額は、スーパーはやや増加、CVSはわずかに増加

小売業販売額のうち、飲食料品についてみると、令和6年が49兆4千億円で対前年比2.1%とわずかに増加となった。うち、主要3業態における令和6年の飲食料品販売額についてみると、スーパーマーケット（うち、大規模小売店）は12兆9千億円で対前年比3.4%とやや増加となった。百貨店（うち、大規模小売店）は1兆6千億円で対前年比▲1.2%とわずかに減少となった。また、CVS（日配食品及び加工食品の合計）は8兆2千億円で対前年比1.9%とわずかに増加となっている。スーパーはコロナ禍の巣ごもり消費以降も引き続き堅調となっており、CVSはコロナ禍前の令和元年の水準を超えて回復している。一方、百貨店は令和元年の水準には回復していない。

図2 百貨店、スーパー、CVSの食料品販売額指数の推移



資料：経済産業省「商業動態統計」
 注：百貨店及びスーパーは、大規模小売店の数値である。

表1 飲食料品小売業、主要3業態の飲食料品部門の販売額の推移

	飲食料品小売業		主要3業態の飲食料品					
	販売額 (億円)	販売額指数 (2年=100)	販売額 (億円)			販売額指数 (令和2年=100)		
			百貨店	スーパー	CVS	百貨店	スーパー	CVS
25	446,190	98.8	19,120	87,349	61,387	128.3	75.1	83.0
26	455,900	101.0	19,289	90,711	65,819	129.5	78.0	89.0
27	453,110	100.4	19,257	93,634	70,234	129.3	80.5	95.0
28	443,890	98.3	18,954	95,525	73,699	127.2	82.2	99.6
29	445,360	98.7	18,619	96,440	75,919	125.0	82.9	102.6
30	451,810	100.1	18,116	98,302	77,694	121.6	84.5	105.0
元	453,620	100.5	17,756	98,469	78,522	119.2	84.7	106.2
2	451,450	100.0	14,899	116,268	73,964	100.0	100.0	100.0
3	453,280	100.4	15,353	119,405	73,770	103.0	102.7	99.7
4	455,210	100.8	16,148	120,635	75,852	108.4	103.8	102.6
5	483,790	107.2	16,446	124,889	80,948	110.4	107.4	109.4
6年	493,850	109.4	16,255	129,192	82,466	109.1	111.1	111.5

資料：経済産業省「商業動態統計」
 注：百貨店及びスーパーは、大規模小売店の数値である。